

令和7年12月25日(木)

ごみ収集パイプライン利用者の会 委員各位
自治会会長 管理組合理事長 各位
芦屋浜自治連合会 顧問 各位

ごみ収集パイプライン利用者の会
委員長 山口 能成

第101回 ごみ収集パイプライン利用者の会 開催のご連絡

平素より、ごみ収集パイプライン利用者の会の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。寒暖差の大きい日が続き、インフルエンザ等も流行しております。どうぞ体調には十分ご留意ください。

さて、今回の利用者の会では、パイプラインに代わる「代替案」の現状説明と今後の検討を主なテーマとして取り上げます。

特に、次年度の夏に予定している住宅形態別の実証実験について、現時点での考え方や方向性をご説明し、皆さまのご意見を伺いたいと考えております。

なお、現在も高浜2街区ではパイプラインの停止が続いております。年末に向け大掃除の時期を迎ますが、ごみ出しのルールとマナーを改めてご確認のうえ、ご協力をお願いいたします。

。

記

- 日時: 12月25日(木曜) 19:30~20:30(最大60分)
- 予定議題
 - 1. パイプライン障害発生
 - 2. ワーキング・グループからの報告
 - 3. 代替案の検討
 - 4. その他の話題
- 場所: 芦屋浜センタービル 小会議室
- 今後の予定:

第102回利用者の会: 1月29日(木) 19:30~20:30

以上

今月の報告と検討項目

1. パイプライン障害発生

高浜2地区(賃貸)で、マナー違反ごみによるパイプライン詰まりが発生し、芦屋市は外部業者とともに高圧洗浄で除去作業を進めていますが、3回実施しましたが、解決しています。ごみがパイプラインに詰まっている状態で使用不可の状態です。このために多額の公費が必要となっています。わずかな不適切排出が、重要な財源を浪費させる深刻な問題であることを改めて共有します。

2. 年次報告書の修正

前回の会議で芦屋市の年次報告書に間違いがありましたので、修正した報告書が提出されましたので、報告いたします。修正箇所は、

3 運転状況	修正後
(1) 輸送管のつまり等に伴う運転停止	
・ 輸送管の老朽化 (主に雨水の侵入)	3回
・ マナー違反投棄	3回
(2) 工事施工に伴う運転停止	4回
	5回
	0回
	2回

3. ワーキング・グループの報告

12月22日にワーキング・グループで代替案の検討をおこないました。特に、実証実験について話が進んでいますので、その内容を報告します。

1. 前回協議事項の確認
2. 実証実験の目的と実証実験の詳細書類(手順等)の作成
3. 住宅タイプ別の代替収集実証実験について
4. 実証実験の候補自治会・管理組合について
5. カート収納ボックスの仕様と法的な問題について

4. 私たちのHPの紹介

私たちのHPはパイプラインに関する情報をすべて入れており、毎日更新をしております。今回はパイプラインの運転情報について説明をします。

第100回 ごみ収集パイプライン利用者の会 議事録

日時	2025年11月27日 19:30~20:30
場所	芦屋浜 センタービル3F 会議室
参加者	友田・勝山(アステムC棟)、村山(芦屋浜第1住宅)、飯田(浜風町第4住宅)、新宮(浜風町第5住宅)、小林(新浜町住宅)、三浦・池西・花園(ラ・ヴェール芦屋Ⅱ)、松木(ラ・ヴェール芦屋Ⅲ)、山口(アステムA・B棟)、辛川(芦屋浜第2住宅)、河本・高木(緑第二住宅)、大田・野村(潮見南)、春木(南浜1街区)、川島(市議) 合計18名
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1. パイプライン障害発生 2. パイプライン協議会の報告 3. 廃棄物減量推進審議会の報告 4. ワーキング・グループからの報告 5. その他の話題

1. パイプライン障害発生(高浜2街区・4街区の停止)

説明

- 11月7日および8日に(高浜町2街区:05059、05069、05079、高浜町4街区:05099)で輸送管内でごみが堆積し、パイプラインが停止している。
- 高浜4街区は高圧洗浄で異物を除去し復旧した一方、高浜2街区は高圧洗浄でも除去しきれず、再度の高圧洗浄(3回目)により復旧を目指す状況である。
- 詰まりの原因となる異物として、ドライヤー、丸型蛍光灯、タブレット、物干し部材、靴、紙、テープ台座等が回収された。
- 停止期間中は臨時収集(週3回)を実施しており、臨時収集費は「1日4.5万円」規模で発生している。加えて高圧洗浄費も必要で、住民全体の負担(公費)増につながっている。
- 再発防止策として、賃貸居住者が多い県営住宅・UR賃貸に対し、継続的かつ反復的な啓発を徹底するよう、市へ強く要請している。事故・迷惑行為の抑止(ペナルティや費用負担の議論を含む)も論点として提示された。
- 障害報告の標準化として、発生状況を整理した表(写真添付必須)の形式で市から報告を受ける運用を求めた。

Q&A(主な質疑と応答)

- Q:なぜこれほど異物が投入されるのか。
A:賃貸では入居者が入れ替わりやすく、啓発が継続されないと同様の事象が繰り返される。今回は「強制退去者ではないか」との市側情報も共有された。
- Q:ペナルティ(費用負担等)を与えるべきではないか。
A:議論としては必要性が提起された。ただし、投入口では個人特定が難しい。現実策としては、写真掲示・現物提示などの啓発強化を継続する方針が確認された。
- Q:住民への周知はどう行うべきか。
A:エレベーターホール等への写真掲示、注意喚起の貼り紙等を継続する。加えて県営・UR 側の組織的な啓発が不可欠。

2. パイプライン協議会の報告(運転状況・トラブル分析)

要約(説明)

- 2025年11月15日に、利用者側・市(環境部局)・運転事業者(T-MES)等で「パイプライン協議会」を開催。
- 運転状況の報告は、従来の月次から「半年レビュー(4/1~9/30)」へ変更されていたが、利用者側は「月次に戻すべき」と問題提起した。
- 4/1~9/30 のトラブルは全体で147件と増加。增加分の多くは、雨水混入等を背景とする軽微なシステム異常(設備側要因)が中心と説明。
- 巡回点検は概ね横ばいで、利用者からの問い合わせは減少しており、住民影響の観点では改善傾向と評価された。
- 住民に直結する特記事項として、投入口の「鍵穴位置ずれ」4件、住民起因の投入口不具合11件(高浜・若葉など賃貸比率が高い地域が中心)が共有された。

Q&A(主な質疑と応答)

- Q:半年に一度の報告では対策が遅れないか。
A:利用者側から「月次でデータを受け、必要な対策を即時に協議すべき」と提案した。
- Q:鍵穴位置ずれへの対応は。
A:注意喚起(「最後まで回す」等)を貼り紙で実施。自治会が摩耗部品を持ち回りで補う例もあるが、再発は残っている。

3. 利用者側の提案(提供資料の13ページ「まとめ意見」:低コストで効く改善策)

説明

利用者側から、費用を大きくかけずに改善できる三点を提案した。

1. 運転管理の徹底:センター機械側の清掃・保守を強化し、小さな異常を増やさない。
2. 賃貸居住者への啓発徹底:県営・URへの強い働きかけを市経由で継続する。
3. 情報提供の月次化:半年では遅い。毎月データ共有し、必要な打ち手を隨時協議する。

Q&A

- Q:結局「お金がない」から難しいのでは。
A:「ない」ではなく、使うべきところに使わないと障害が増え、結果として臨時費用が膨らむ、という整理である。まずは“ほぼ費用を要しない運用改善”を確実に行う。

4. パイプライン年次報告書(案)の共有と修正事項

説明

1. 芦屋市との協議(市長室での面談等)を経て、パイプラインの年次報告書を作成し、市議会承認につなげる枠組みが進んでいる。
2. 年次報告書案について、主要データとして以下が説明された。
 - 収集量は減少(前年対比 93.5%へ修正依頼あり)。
 - 人口・世帯数も減少傾向(例:14,321 人→13,860 人)。
 - 処理経費は概ね目標(2.6 億円)以下で推移。計算誤りの修正(100.8%→105.2%)が市から連絡された。
 - 電力消費量も削減傾向(96.1%)。運転方法の工夫が背景。
 - 管更新より「内張り補修」を重視し、コスト抑制を図っている。
 - ただし掘削工事の担い手不足で、入札不調が発生している。
3. 運転停止回数など、一部数値の整合について、会議内で確認・再確認が行われた。(後日訂正があり 12 月の利用者の会で説明)
4. CO₂削減は進捗しているが、国の 2030 目標水準には距離がある。国民運動(デコ活)への問題提起も共有された。

Q&A(主な質疑と応答)

- A:更新の巨額化を避ける現実策として位置付けられている。一方で掘削業者不足が大きな制約になっている。

5. ごみ減量推進審議会の報告(市全体のごみ施策・アンケート)

説明

- ごみ処理に関する「基本計画」は当年度内(来年 3 月まで)に策定予定。

- ・ 神戸市搬送を前提とした中継施設は令和12年4月までに整備、新しい資源化施設は令和15年4月までに整備予定との大枠スケジュールが示された。
- ・ 市民・企業向けアンケートを来年2月に実施予定。
- ・ ごみ排出量は目標達成傾向だが、リサイクル率が目標を下回っていることが課題として共有された。兵庫県内順位等の比較も提示され、芦屋は上位ではない。
- ・ アンケート案について、利用者側から設問設計への改善提案を行った。
 - 「関心→行動」ではなく、「知識(減量方法を知っているか)→行動」へと順序を整えるべき。
 - 「知っていても行動しない理由(原稿不一致の原因)」を問う設問を追加すべき。
- ・ 施策メニュー(古着交換、集団回収、見学会、出前講座等)は提示されたが、目標値が乏しい点を継続的に指摘していく方針が述べられた。

Q&A(主な質疑と応答)

- ・ Q:リサイクル率が高い自治体(例:宝塚)は何が違うのか。
A:現時点では詳細不明で、要因把握が今後の課題として共有された。
- ・ Q:アンケート設計の問題点は。
A:行動を問う前提として、減量方法の認知や、行動を阻む要因(制度・環境・心理)を問わないと、政策に資する結果になりにくい。

6. ワーキンググループ報告(代替案検討・実証実験の準備)

説明

- ・ 代替案検討のワーキンググループは毎月開催。12月以降は月2回へ増やし、ファシリテーターを導入して議論を加速する方針。
- ・ 来年度から、住宅形態別(戸建・タウンハウス・中層・高層など)に各1地区程度を選び、実証実験を行う方向で準備中。
- ・ 基本理念(案)として、以下が共有された。
 1. 住民の納得最優先
 2. 利便性維持と景観向上の両立
 3. コスト透明化と住民負担への配慮
 4. 国内外先進事例から未来志向技術を探索
 5. 人口減少・物理制約など現実課題の直視
- ・ 投入口ごとの現地調査結果として、収集車の進入可否、候補設置場所、想定ごみ量等を整理した資料が提示された。必要に応じ、地区別コピー配布も検討。

- ・週あたり収集回数は、資料上は週3回想定(高層で週2回だと滞留量が大きい)として検討しているが、確定ではない。
- ・代替案の概念として、地下ピット、カート方式、ボックス囲い、ゴミ庫方式、金属ボックス、簡易ネット囲い等の選択肢が共有された。
- ・カート方式は、いつでも排出でき、鳥獣被害も抑えやすく、収集側も作業性が高い点が評価される一方、導入・更新費(カート約10万円/台の目安)を誰が負担するかが大きな論点。収集車側にも対応装置が必要で、市は対応車両の整備を検討している旨が述べられた。
- ・金属ボックスは、中身が見えにくく危険物混入(例:リチウムイオン電池)や収集時のリスクがあり、収集側が懸念を示した。

Q&A(主な質疑と応答)

- ・Q:候補設備の色や景観配慮はどうするのか。
A:現時点では詰めておらず、今後検討する。景観悪化を避けるため「囲い」を検討する方向性が示された。
- ・Q:カート方式が有力に見えるが、費用負担は。
A:初期は市側で一定対応しても、破損・更新を住民負担とする案が示されており、ここが最大の争点。補助制度など交渉余地があるとの問題提起があった。
- ・Q:週2回収集では足りない地域があるので。
A:高層等は滞留が大きく、週3回想定で検討している(確定ではない)。
- ・Q:危険物混入(リチウム電池等)のリスクは。
A:密閉・見えない方式ほどリスクが高まりやすい。実証実験で運用ルールと監視・啓発の設計が不可欠、という方向性が共有された。
- ・Q:ワーキングは誰でも参加できるか。
A:ホームページのスケジュールにより、関心がある住民は参加可能である旨が案内された。

7. まとめ(会議全体の結論整理)

- ・高浜2街区の詰まりは未解決であり、高圧洗浄の追加実施と臨時収集の継続が必要。再発防止として賃貸側への反復啓発を強化する。
- ・協議会報告は、住民影響の大きい指標(問い合わせ・住民起因不具合)に焦点を当てつつ、月次データ共有へ戻す方向で改善提案を行う。
- ・年次報告書は枠組みとして前進。ただし数値誤りが複数あるため、根拠明確化と修正管理の徹底を求める。
- ・市全体のごみ施策は長期スケジュールが提示された。アンケートは政策に資する設計へ修正提案を継続する。

- 代替案は実証実験フェーズへ移行。ファシリテーター体制の下で月2回開催とし、現地データを基に住宅形態別に実装可能性を検証する。

以上

1. パイプライン障害発生

11月7日および8日に（高浜町 2街区:05059、05069、05079）で輸送管内でごみが堆積し、パイプラインがまだ停止しています。解決するために管内部洗浄を3回実施しましたが、12月22日現在解決はしておりません。芦屋市では今後どうすべきか再度TMESと検討をしている状況です。

パイプライン障害発生の連絡

12月3日

項目	内容
発生日・時刻	2025年11月7日（高浜町 2街区:05059、05069、05079）、
連絡日	メール送信: 1回目:2025年11月 7日 17:30頃 2回目:2025年11月11日 12:00頃 3回目:2025年11月17日 17:00頃 4回目:2025年11月26日 14:00頃 5回目:2025年12月 3日 14:30頃
場所	高浜町 2街区
影響投入口番号	05059、05069、05079、
障害内容	パイプライン閉塞・機械の故障・内部浸水・工事等・その他 詳細:輸送管内でごみが堆積し、パイプラインが停止しました。
原因	調査（済・継続中）・原因不明 ・具体的な内容 ごみの堆積（ ） ・写真: <input checked="" type="checkbox"/> 別添 <input type="checkbox"/> 無
臨時収集	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 期間 11月12日(水)～ 詰まり解消作業完了まで（まで・未定） 備考 <input type="checkbox"/> 月～土(8:30収集)対応 <input checked="" type="checkbox"/> 週3回(月・水・金 8:30収集)対応
復旧予定	<input checked="" type="checkbox"/> 未定 <input checked="" type="checkbox"/> 管内部洗浄 対応時期(確定:【済】11月15日(土)、【済】11月21日(土)、 【済】11月22日(日)、【済】12月1日(月) 【予定】12月12日(金)・未定※調整中) 備考 <input type="checkbox"/> その他(対応内容:) 対応時期(確定 月 日・未定※調整中) 備考
利用者の対応行動	<input type="checkbox"/> 一時的な各自ごみの保管 <input type="checkbox"/> （他の）投入口へごみを投入ください。 <input checked="" type="checkbox"/> その他（赤ランプの点灯時は近隣の投入口へごみを投入ください。）
注意事項	<input checked="" type="checkbox"/> ：臨時収集です。11月12日以降は投入口(05059、05069、05079)へ投入しないでください。 <input type="checkbox"/> しばらくごみは各自保管願います。 <input checked="" type="checkbox"/> その他（投入口:05099については障害解消されたため、 パイプラインの運転を再開しています。）

マナー違反のごみ(高圧洗浄で排出されたもの)

内容	写真
<p>高浜町2 投入口 05059下流 の点検口から取り出 したごみの写真(ドライ ヤーや丸形蛍光灯器 具など)</p>	
<p>高浜町4 11月15日(洗浄分) 投入口 05099 の下 流より取り出したごみ の写真 (タブレット(左下)・ 洗濯物干しの一部 (中央下)・ 鞄(中央付近)・ 紙類(右上)・ ゼロテープの台座 (中央))</p>	

高浜町2

11月 21・22日

(洗浄分)

投入口 05059・
投入口 05069・
投入口 05079 の付
近の輸送管から取り出
したごみの写真

水栓器具(中央付近)
ピン(右上)
鍋(右上)
皿(右上)
水筒(右側付近)
木材(右側付近)
コート(左下)



高浜町2

12月1日(洗浄分)

投入口 05059下流
の点検口から取り出
したごみの写真

フライパン(左下)、
ラジオ(中央下)、
皿・植木鉢(右上)、
石(左下フライパンの上)
モップの先端(右下)



2. 年次報告書の修正

廃棄物運搬用パイプライン施設の年次報告（令和 6 年度）について

令和 6 年度の廃棄物運搬用パイプライン施設の運用状況を報告いたします。

1. パイプライン施設年間基本データ（3か年の実績）

項目	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	R6/R5 対比
収集量（t）※1	2,004	2,152	2,012	93.5%
収集人口（人）※2	14,321	14,055	13,860	98.6%
収集世帯（世帯）※2	7,122	7,067	7,026	99.4%
処理経費（円）	237,998,726	221,441,975	232,917,995	105.2%
電力使用量（kwh）	1,201,932	1,159,907	1,115,134	96.1%

※1 収集量には、臨時の車収集のごみ量も含む（R4:29t、R5:58t、R6:71t）

※2 人口及び世帯数は住民基本台帳（日本人+外国人）（10月1日）の値

2. 処理経費の内訳（2か年の実績）（単位：円）

項目	令和 5 年度	令和 6 年度	R6/R5 対比	備考（R6）
需用費	4,740,560	5,537,620	116.8%	内貼補修材の購入
委託料	108,117,521	118,960,819	110.0%	包括業務費用（電気代含む）
工事請負費	94,140,800	90,348,500	96.0%	穴あき補修工事、電気設備補修工事
備品購入費	0	1,385,450	-	ごみカート
負担金、補助金及び交付金	120,000	200,000	166.7%	共同溝負担金
補償、補填及び賠償金	0	0	0%	
人件費	14,323,094	16,485,606	115.1%	職員（給料、共済等）

- 需用費は、内貼補修材の購入量が増加したため、増額した。
- 委託料は、臨時の車収集の回数が増加したため、増額した。
- 備品購入費は、ごみカート等を購入したため、発生した。
- 負担金、補助金及び交付金は、「芦屋浜共同溝付帯設備管理協議会」の毎年の負担金が増加したため、増額した。

3 運転状況

(1) 輸送管のつまり等に伴う運転停止

・ 輸送管の老朽化 (主に雨水の侵入)	3回	5回
・ マナー違反投棄	3回	
(2) 工事施工に伴う運転停止	4回	2回

4 輸送管の穴あき補修

(1) 管の部分取替え :

4箇所 (浜風町約6m、新浜町約4.3m、高浜町約5.7m、緑町約2m)

(2) 補修・仮補修 :

18箇所 (浜風町、新浜町、高浜町、若葉町、緑町)

5 利用者の会との話し合い

(1) ゴミパイプライン協議会の開催 3回開催

令和6年度の具体的な協議内容は、パイプライン運転報告、運転方法変更の改善提案、代替収集に向けたロードマップの更新、パイプライン施設の年次報告、ファシリテーター導入の決議など。

(2) ワーキング・グループの開催 12回開催

令和6年度の具体的な検討内容は、電力使用量(CO2)削減のため利便性も考慮した運転方法、ごみカートの導入について、ファシリテーター導入に向けての準備など。

ワーキング・グループでは、市と利用者の会とで運転方法の工夫について、話し合いを行い、CO2排出量削減に取り組んでいます。

年度	電力使用量 (kwh)	CO2排出量 (kg-CO2)	削減率
基準 (H18~H25平均)	1,384,920	692,460	
令和4年度	1,201,932	600,966	13.2%
令和5年度	1,159,907	579,954	16.2%
令和6年度	1,115,134	557,567	19.5%

※CO2排出係数を0.5kg-CO2/kwhで計算しています。

3. 代替案の検討

12月22日 9時30分～12時で環境処理センターにてワーキング・グループが開催され、代替案の検討がされました。

協議内容は実証実験実施のために

6. 前回協議事項の確認
7. 今後のスケジュールについて
8. 住宅タイプ別の代替収集実証実験について
9. 実証実験の候補自治会・管理組合について
10. カート収納ボックスの仕様について
11. 次回会議日程の調整

第11回 WG 1月13日(火)13:30

前回協議事項の確認

1 前回議事録(要点の確認)

- ・年度末迄のワーキンググループ開催回数を増加、会議時間を2時間30分とする
- ・代替施設案パターン別の代替候補地選定方法の説明した
- ・来年度、住宅タイプ(高層・中層・タウンハウス・戸建て)ごとに自治会・管理組合を選定し、実証実験を行う
- ・1ヶ月ごとに3パターンの実証実験をし、結果を踏まえ比較検討する
- ・実証実験中の自治会・管理組合エリアはパイプラインの利用を停止する

2 実証実験について

目的

将来的なパイプライン代替方式の合理的な意思決定に資するものと考え、住宅形態別(4類型)のごみ収集実証実験を下記の目的で実施

1. 生活利便性と受容性の評価

排出距離、時間帯、操作性などが日常生活に与える影響を把握し、住民の受容度を定量・定性の両面から評価する。

2. 利用者の安全性確保の検証

高齢者や子どもを含む全利用者が、無理なく安全にごみを排出・搬出できる動線・作業負荷であるかを確認する。

3. 運営コストおよび維持管理負荷の把握

収集・管理に要する人件費、設備費、保守作業量を把握し、長期的に持続可能な方式かを検証する。

4. 環境負荷(CO₂排出量等)の比較検証

既存パイプライン方式と比較し、電力使用量、車両走行、騒音等を含めた環境負荷の増減を明らかにする。

5. 住宅形態別の適合性と課題抽出

高層・中層・低層等の住宅形態ごとの特性に応じた課題を整理し、本格導入時の仕様・運用条件の基礎資料とする。

・ 時期：来年度に実施する方針で進める

(コメント：予算がともなうので 2026 年3月の議会で承認され、4 月の真円度予算で、入札を行うので、実証実験はおよそ 2026 年夏から秋にかけて 3 か月間(3 案×1 回実施)

- ・ 手順：各住宅タイプ(高層・中層・タウンハウス・戸建て)で行う
- ・ 1案1ヶ月ごと、計3案のゴミ出し方法を 3 ヶ月間、選定された全てのエリアで実施する
- ・ 費用は市負担で行う
- ・ 県営、URで実証実験が必要な場合は四者協力で協力を依頼する
- ・ 地下ピット方式は、既存の投入口を利用すると復旧できない等の理由により、実証実験では扱わない

■ 管理組合・自治会等選定方法の手順

追加

芦屋市でどのような実施手順で実証実験を行うかの詳細を文章で作成し、次回のワーキングで検討をおこなう

① ワーキンググループで候補を検討する

追加

検討の結果、芦屋市で候補を選択する。

→協力の有無、場所(車の寄り付き・場所代不要等)の条件が良いところなどを考慮する

- ② 選定候補の自治会には事前に交渉する
 - ③ 利用者の会で実施する自治会を公表する
 - ④ 実施自治会で芦屋市が実験の詳細を説明する
- ※ 2025 年度末までに手順③までを完了する

3 住宅タイプ別の代替収集実証実験について

- ・ 住宅タイプごとに以下の 3 案で行う。

住戸タイプ	案1	案2	案3
高層住宅	集合カート方式	金網ゴミ庫+カート	金網ゴミ庫
中層住宅	集合カート方式	金網ゴミ庫+カート	マンション用折畳み式ネットかご
タウンハウス	カート収納ボックス	折畳み式ネットかご	金属ボックス
戸建て住宅	カート収納ボックス	折畳み式ネットかご	金属ボックス

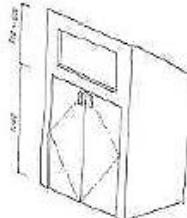
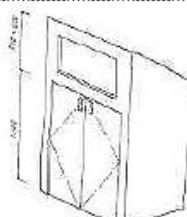
- ・ 「ゴミ出しのルールが守れるかどうか」も実証実験の検証の 1 項目である。

4 カート収納ボックス仕様について

- ・ 30リットルのゴミ袋が投入可能な物とする。

(利用者の多くが45リットルのゴミ袋を利用し、ゴミ出し日が重なってしまった場合、ゴミカートの容量を超過する恐れがある。ゴミ袋の容量が大きくなるほど投入口が大きくなり、耐久性が低くなる。)

住戸タイプ別の代替収集実証実験の採用案（たたき台）..... 20251222

住戸タイプ	実証実験採用方式案（各住戸タイプごとに1ヶ月ずつ3案を実施する予定）		
	案1.	案2.	案3.
高層住宅	集合カート方式 	金網ゴミ庫+カート 	金網ゴミ庫 
中層住宅	集合カート方式 	金網ゴミ庫+カート 	マンション用折畳式ネットカゴ  <small>※写真はMサイズを使用しています。</small>
タウンハウス	カート収納ボックス 	折畳式ネットカゴ 	金属ボックス 
戸建住宅	カート収納ボックス 	折畳式ネットカゴ 	金属ボックス 

カート収納ボックスに要求される性能

- 景観的に良好な外観であること
- カートが1つまたは2つ十分に入ること
- 十分な耐久性があること(□材質 | □製造方法)
- カラス等に荒らされないこと(□蓋が必要)
- ゴミ袋の大きさに対応可能であること(□30 リットル | □45 リットル)
- 不法投棄対策がとれること(□鍵がつけられること)
- 子どもや高齢者でも無理なく投入できること(□投入口高さ | □蓋の重さ)
- パッカー車による収集に無理がないこと(□開閉の手間 | □鍵の有無)
- できるだけ安価に更新できること

「ゴミカート収納ボックス」の建築基準法上の取り扱いについて

現時点での結論

結論的には、芦屋市内では、ゴミカート収納ボックス(小規模な倉庫)が建築物と判断されるか否かは、近畿建築行政会議の判断によって取扱われることが分かります。つまりゴミカート収納ボックスを、奥行きが 1m 以内のもの又は高さが 1.4m 以内のものとして計画すれば建築物となることを逃れることができると解釈できます。

これをそのまま読めば、奥行きが 1m 以内であれば、高さが 1.4m 以上であっても建築物とみなされないと読みます(逆も同様)が、これについては芦屋市建築住宅課に確認が必要であろうと考えます。

なお、計画・設計においてこれ以上のものとなった場合「人が入れる倉庫であるか否かで判断される原則」による解釈が可能かどうかについて、芦屋市建築住宅課との協議が必要となります。

2026 年 1 月に関連部署とファシリテーターと環境施設課で調整を行う。

リチウムイオン電池総合対策パッケージの策定(環境省)



国民・事業者への周知啓発

①国民・事業者への周知啓発

- 多様な媒体や多言語（英語、中国語等）を活用するとともに、関係省庁の所管団体や地方公共団体等を通じて、政府全体ワンボイスでの情報発信を行う。
- 情報を一元化するポータルサイトを消防庁に設置し、わかりやすい情報発信を行う。
- 引き続き、火災予防運動等の火災防止に係る啓発活動に取り組む。

〈ワンボイスでの呼びかけ〉

リチウムイオン電池の「3つのC」

賢く選ぶ

Cool choice

- ①購入前に、販売事業者の連絡先や製品情報、リコール情報を確認する
- ②PSEマークやリサイクルマークが表示されているか確認する
- ③非純正品については取り付けようとしている製品のホームページに注意喚起が掲載されていないか確認する
- ④購入時に廃棄の方法を確認する



丁寧に使う

Careful use

- ①強い衝撃や圧力を加えない
- ②高温になる場所では使用・保管しない
- ③安全な場所で、目の届くところで充電する
- ④異常を感じたら使用を中止する
- ⑤発火した時はまず安全を確保し、消火器や大量の水で消火する
- ⑥リコール情報を確認する
- ⑦公共交通機関では、持ち込みルールを守るとともに、留意事項を確認する



正しく捨てる
そして資源循環

Correct disposal with better recycling

- ①リチウムイオン電池使用の有無を確認する
- ②廃棄する前には電池を使い切る
- ③廃棄方法（メーカー回収や地方公共団体の回収区分）を確認する
- ④リサイクルされる廃棄方法を選択する



4. 私たちのHPの紹介

アドレス:<https://pipelineusers.preview.webnode.jp/>

費用:約年間 6500 円

ごみ収集パイプライン利用者の会

芦屋市と芦屋市民が一緒になって智慧を出し合い問題解決をする

メインページ サイトマップ RSS 印刷



メニュー

- メインページ
- 私たちの活動
- 啓蒙活動
- パイプライン運転状況**
- パイプライン運転時間
- 代替案の検討
- パイプライン施設運転実績
- パイプラインOKごみ・NOごみ
- 危険物ごみ撲滅運動（新規）
- 工事関連（8月28日更新）
- CO2削減活動（8月5日更新）
- オープンデータ（更新）
- マナー違反ごみ（12月4日）更新
- パイプライン施設への提案
- スケジュール（更新）
- パイプラインの運用期間条例

メインページ > パイプライン運転状況

イプライン施設の運転状況

利用者起因によるパイプライン詰まり「ZERO」期間
(Campaign to reduce pipeline clogging period to "ZERO")

12月22日

高浜町2街区（投入口：05059、05069、05079）の管内洗浄について12月1日（月）に実施いたしましたが、堆積物が多く、詰まり解消には至りませんでした。3回目の管内洗浄を12月12日（金）に実施いたします。

町名	状況	復旧予定	備考
浜風町	○	運転中	—
新浜町	○	運転中	—
高浜町	○	運転中	未定
若葉町	○	運転中	—
緑町	○	運転中	—

メニュー

- メインページ
- 私たちの活動
- 啓蒙活動
- パイプライン運転状況
- パイプライン運転時間
- 代替案の検討
- パイプライン施設運転実績
- パイプラインOKごみ・NOごみ
- 危険物ごみ撲滅運動（新規）
- 工事関連（8月28日更新）
- CO2削減活動（8月5日更新）
- オープンデータ（更新）
- マナー違反ごみ（12月4日）更新
- パイプライン施設への提案
- スケジュール（更新）
- パイプラインの運用期間条例
- 年次報告と長期活動計画

私たちのウェブサイトへようこそ！Welcome to our website!

このホームページは、「パイプラインとごみ」に関する基本的な情報を提供しています。私たちの基本ビジョンは、これらの情報をもとに、市民と芦屋市が協力して問題を解決し、信頼関係を築き、より良い「街まちづくり」を実現することです。This website provides basic information about "pipelines and garbage". Our basic vision is for citizens and Ashiya City to work together to solve problems, build relationships of trust, and realize better urban development based on this information.

ニュース

パイプライン停止の情報 Pipeline Shutdown Notice

2025年12月22日 07:51

高浜町2街区（投入口：05059、05069、05079）の管内洗浄について12月1日（月）に実施いたしましたが、堆積物が多く、詰まり解消には至りませんでした。3回目の管内洗浄を12月12日（金）に実施いたします。Regarding the pipe cleaning in Takahama Town Block 2 (Inlet: 05059, 05069, 05079) The cleaning was performed on Monday, December 1st, but due to heavy sediment buildup, the blockage could not be cleared. A third pipe cleaning will be performed on Friday, December 12th.

2025年11月のゴミ収集パイプライン利用者の会会議資料 November 2025 Waste Collection Pipeline Users' Association Meeting Materials

メモ欄